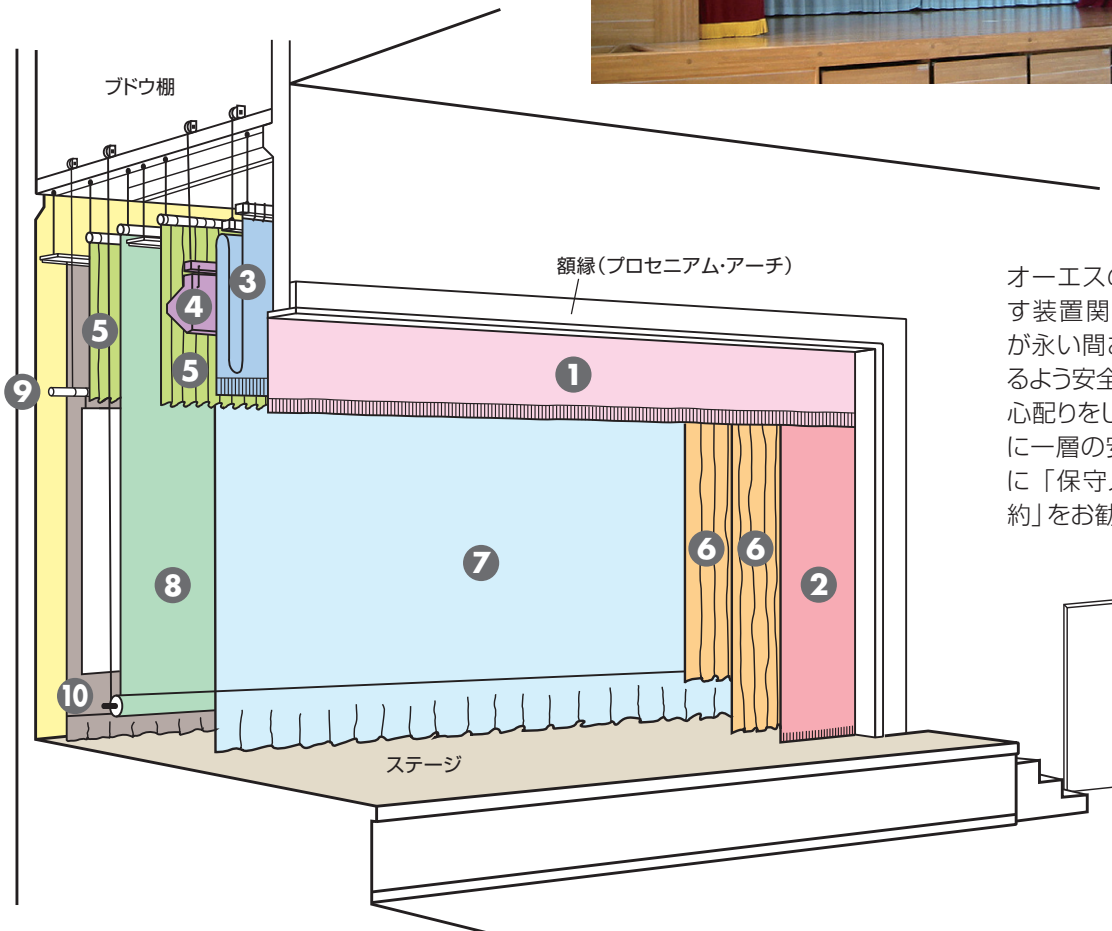
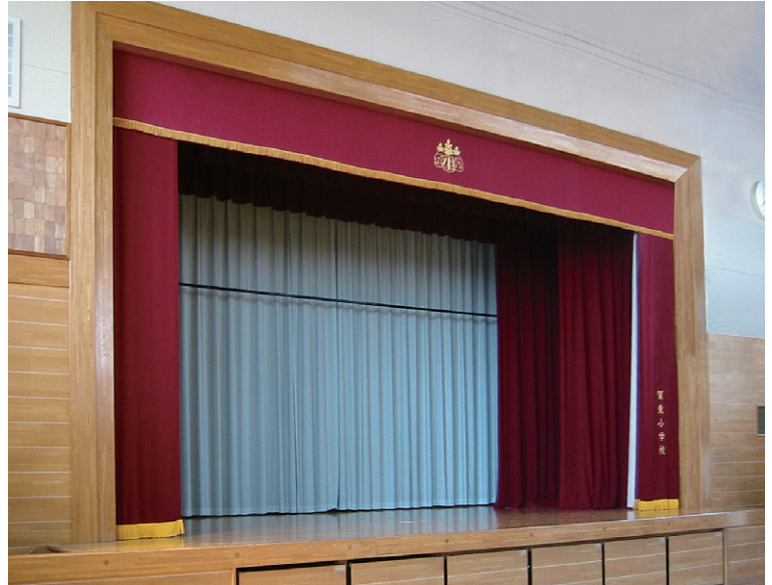


舞台

学校の講堂や体育館、市民ホールや公会堂などの公共施設、演芸場、劇場など、コンサートや上映会、演劇などのコミュニケーション活動が催される場所では昇降・開閉装置、バトンや大型スクリーンなど、さまざまな製品が活躍し、催事を成功させる陰の力として活躍しています。



オーエスの提供いたしません装置関連は、多くの方が永い間お使いいただけるよう安全性には、細心の心配りをしております。更に一層の安全確保のために「保守メンテナンス契約」をお勧めいたします。

■ 舞台装置の主な種類

名称	使用目的(装置の役割)
① 一文字幕	舞台額縁(プロセニウム・アーチ)裏の上部に位置し、マーク(紋)が入る場合が多い。
② 袖幕	一文字幕の後方で額縁の両脇に位置する。
③ 緞帳	【本緞帳】舞台前列に位置し舞台と客席を仕切る幕でステージ幕の内では最も豪華な布地を使う。 【紋緞帳】洋風な趣きの催事等に使用され本緞帳に準ずる、定形絞り・変形絞り・蝶開(オペラカーテン)等がある。 【引割緞帳】ステージの天井(ブドウ棚)が低い場合に用いられる。
④ 照明バトン	舞台照明器具を電動又は手動昇降装置とし吊り下げるもの。
⑤ カスミ幕	舞台上部の視界を遮ぎると共に奥行に立体感を増す。
⑥ サイド幕	舞台両脇の視界を遮ぎると共に奥行に立体感を増す。
⑦ 中引幕(引割幕)	場面転換などで使用する幕。前方に位置するものを前方幕と言う。
⑧ 映写スクリーン	昇降式の場合は舞台のほぼ中央に、固定張込式の場合は後壁面に取付ける。
⑨ 美術バトン	議題や旗、背景幕等を電動又は手動昇降装置とし吊り下げるもの。
⑩ 後引幕	左右開きの構造。舞台後方に位置する。